

令和3年度 経営発達支援事業 実績・評価

1. 評価期間名 奈井江町商工会 経営発達支援計画評価委員会
2. 開催日時 令和4年4月21日（木）16時30分～17時00分
3. 開催場所 奈井江町商工会

4. 出席者

- ・奈井江町商工会 会長 石川 正 人
- ・奈井江町商工会 副会長 太田 裕 治
- ・奈井江町商工会 副会長 山口 議 史
- ・奈井江町役場産業観光課 課長 石塚 俊 也
- ・北門信用金庫奈井江支店 支店長 和泉 洋
- ・北海道商工会連合会組織支援部広域支援課 課長 佐々木 健 雄
- ・奈井江町商工会 事務局長 首藤 繁 勝
- ・奈井江町商工会 経営指導員 阿部 隆 史

5. 令和3年度奈井江町商工会経営発達支援計画の実績と評価

I. 経営発達支援事業の内容

1) 地域の経済動向調査に関すること

- ・アンケート調査の実施

目 標：1回 実 績：2回 自己評価：A

町内事業所において業種ごとの景況感調査を実施

- ・各種経済情報の収集提供及び分析

目 標：2回 実 績：4回 自己評価：A

中空知、北海道、全国における景況調査を集計・分析を行い、情報提供を行う

2) 経営状況の分析に関すること

- ・巡回訪問の強化

目 標：500回 実 績：280回 自己評価：C

補助事業の周知や各種調査など積極的な巡回訪問を実施

- ・経営分析の実施

目 標：20件 実 績：25件 自己評価：A

経営自己診断システムやネットde記帳など経営分析ツールを活用し分析を行う

3) 事業計画策定支援に関すること

- ・計画の策定セミナー・個別相談会実施

目 標：2回・10社 実 績：6回・24社 自己評価：A

小規模事業者持続化補助金等の活用を目的とした事業計画策定セミナーを開催

- ・事業計画策定事業者数

目 標：20件 実 績：13件 自己評価：B

補助事業活用による計画策定、金融支援による計画策定を実施

- ・創業支援・創業計画策定支援

目 標：1社・1件 実 績：1社・1件 自己評価：A

サービス業の創業支援1件実施

- ・商品開発セミナー・個別相談会実施

目 標：2回・2社 実 績：1回・1社 自己評価：B

新商品開発セミナーを開催

- ・第二創業（商品開発）計画策定事業者数
目 標：2件 実 績：0件 自己評価：D

4) 事業計画策定後の実施支援に関すること

- ・フォローアップ
目 標：84回 実 績：61回 自己評価：C
補助事業活用計画策定者フォローアップを実施

5) 需要動向調査に関すること

- ・消費者動向実態調査支援事業所数
目 標：5件 実 績：2件 自己評価：B
観光情報誌及び購入者より消費者動向実態調査を実施
- ・消費者動向実態調査回数
目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A
観光情報誌にて消費動向実態調査を実施
- ・ふれあいネットワーク利用者数
目 標：100件 実 績：52件 自己評価：C
ふれあいネットワーク事業内容の紹介配布やHPでのPR活動により利用者の増加に繋がる
- ・ふれあいネットワーク会員数
目 標：26社 実 績：25社 自己評価：B
ふれあいネットワークの活動をPRすることで加盟店増加に繋がる
- ・消費動向調査資料の提供
目 標：4回 実 績：6回 自己評価：A
各種消費動向調査の内容を集計し、HP等で情報発信を行う
- ・消費動向実態調査提供事業者数
目 標：31社 実 績：24社 自己評価：C
各種会合や巡回訪問等で積極的に情報提供を行う

6) 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

- ・商談会・物産展出展事業者数
目 標：7社 実 績：0社 自己評価：D
新型コロナウイルス感染症の影響で商談会が中止となる
- ・インターネット活用支援
目 標：7社 実 績：9社 自己評価：A
商工会ホームページ内企業紹介ページ活用した支援

II. 地域経済の活性化に資する取組

- ・関係機関の連携
目 標：計画協議 実 績：計画協議 自己評価：A
地域産品を活用した連携を行う
- ・試食会
目 標：1回 実 績：5回 自己評価：A
奈井江産食材を活用した商品開発を行う

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

- ・北海道商工会連合会等専門支援機関との連携と情報交換
目 標：1回 実 績：1回 自己評価：A
支援ノウハウ、課題の解決方法について情報交換を行う

- ・近隣する商工会の経営指導員との情報交換

目 標：2回 実 績：2回 自己評価：A

消費動向や需要動向について情報交換を行う

2) 経営指導員等の資質向上等に関すること

- ・研修等への参加

目 標：経2補1記1 実 績：経1補1記1 自己評価：B

知識・技能・支援ノウハウの習得に繋がる

- ・職場内研修・情報共有

目 標：4回 実 績：7回 自己評価：A

複数職員による巡回訪問等を行うことで情報共有と支援ノウハウの継承を行う

3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

- ・事業評価委員会の開催

目 標：1回 実 績：1回 自己評価：B

6. 委員からの意見等

- ・経済動向や・消費動向・需要動向の調査を行い、それをフィードバックさせた支援を行って販路拡大等につなげていくという一連の流れがきちんとできている点を評価したい。
- ・第2期についてはDXについて盛り込むこととなっているが、需要が変化してきていることもあり、社会の変容に合わせてコロナ禍でのアプローチを考えていくことも重要。商談会などイベントが実施されないことが多いが、現状を悲観するのではなく様々なアイデアを出して行ってほしい。
- ・奈井江に限らないが、空き店舗が目立つなど事業承継が課題になっている。こうした課題への取り組みとしてマッチングを進めるなど、取り組みを進めていくことも大切。
- ・町内には大きな企業があり従業員を多く抱えているが、町外から通っている人が多い。そうした人が町内に住むための環境づくりを行い、町人口を増やすこと、町人口を増やせば人材の確保につながるため、こういったことを地域全体に取り組んでいくべき。
- ・当町では6次化が進んでいない。いまは食糧難で、小麦は価格が高騰して非常に厳しい状況だが、奈井江には日本最高峰の米「ゆめぴりか」がある。米粉を作れば、パン、そば等の加工品に活用できるため活用用途がさらに広がり、これを活用した商品を提供する店舗の創業もあるかもしれない。地域の人を広く巻き込んでいける話になっていくので、6次化を推し進めることも大切だろう。
- ・なかなか新規創業がないが、国道沿いに空き店舗があるなど条件が悪いわけではない。奈井江で創業するイメージを持ってもらうために、奈井江で創業した人のケースをパンフレットにするとか、イメージしやすいように発信していくことで、奈井江での創業イメージを向上させる取り組みをすることや制度・支援を拡充することで、新規創業しやすい町にしてはどうか。
- ・商工業振興条例を制定し、町として商工業の持続的発展や、新規創業、事業承継などを支援していく体制をつくり、商工会と一丸になって奈井江町の商工業振興を推進していきたい。